



1. 取組主体と背景

取組主体：いちじくの里多伎きらりプロジェクト
取組の背景

- ・きらりPJは情報発信を主要な取組の一つに位置付け、多伎町のイベント情報や特産品等を紹介するサイト「まるごとたきナビ」を開設
- ・しかし、アクセス数が伸び悩む状況
- ・サイトへの誘導方法やその他の発信方法を検討する必要性を認識

2. 取組内容

- ・「まるごとたきナビ」内のブログで、「#多伎スタグラム」の優秀作品を発表するなど連携
- ・Instagramに「#多伎スタグラム」で投稿された写真を対象にフォトコンテストを実施。**1,227点が投稿**された。
- ・全国から参加可能とした「海フォトコンテスト」、「お祭りフォトコンテスト」「冬の家フォトコンテスト」を同時募集し多伎町を訪れなくても応募可能なテーマを設け広く参加を呼びかけ。
- ・2月1日～17日に、**多伎スタグラム写真展（100点）**を「海辺の多伎図書館」で開催し、**県内外から160名以上が来場**。
- ・2月11日には多伎コミュニティセンターを会場とし、「**多伎スタフェスタ**」を開催し、**来場者が800人**を超えた。
- ・多伎フェスタでは、幅広い年代に楽しんでもいただける環境にするため物販、ワークショップも体験できるコーナーを設置。

3. 取組効果

- ・当初の目標投稿数(1,000点)を上回る投稿があり、**多伎町の魅力の再発見、PR強化**につながった。
- ・「まるごとたきナビ」のアクセス数も「多伎スタグラム」開始前は一日あたり一桁だったアクセス数が、開始後は80件程度になるなど**増加**。
- ・「多伎スタグラム」での投稿を機に多伎町に関わりをもつ人も出始め、コラボイベントに派生するなど、波及的な効果も。

4. フォトコンテスト等の様子



(右)多伎スタグラム写真展の様子
(上)多伎スタフェスタの様子。会場にはワークショップ等を開催し、多くの参加者が来場

